



県外優秀校視察報告書

馬路中学校 山中 巖

一、日時……昭和四十四年八月八日から同月十一日まで、三日四日

二、目的……主たる目的は、県外における体格体力優秀校を視察して、本校生徒の健康と体力の増進を図るものであるが、同時に各校が教育目標達成のため、どのような努力をしているのか、また視察校とおして、県下の、全体的な状況も把握したいと考えたのである。なお同時に、中京、京阪地区に就職している生徒の職場指導も大きな一つの目的であった。(職場指導については、省略する)

三、視察校……名古屋市中立北山中学校、京都市立嘉楽中学校、芦屋市立精道中学校。四、経費……一名約一万四千円、自己負担額約四千円。五、参加教員……清岡和枝、尾木幹典、有光早春、川竹利雄、六久保正行、前田育美、山中巖。六、感想

北山中学校、嘉楽中学校については、それぞれ報告がなされておいて、紙数の制限もあるので精道中学校について要点だけ書く。前々から補習教育廃止、高校入試廃止等で新聞紙上をにぎわしている兵庫県の教育について、関心を持っていて、幸いにも芦屋市立精道中学校を訪ねることができた。校内に入ると学校の教育目標が、木札に大きくはつきりとして映る。「豊かな心を育てよう」

一、美しい環境をつくらう。二、節度ある態度を養おう。三、心を集中して学ぼう。四、もののいのちを大切にしよう。これは、本校の教育目標と

馬路中学校

山中 巖

設され、特に体育館は、長十六尺、幅二十二尺の広さをもち、器具室、更衣室、管理室等の部屋は勿論、二階には、柔剣道、卓球場もっており、照明設備もすばらしい。これは、いつでも各部の練習ができるように、又なるだけ多くの生徒に開放しようとする配慮からうまれたものである。

県外視察校の雑感

六久保 正行

視察校 名古屋市中立北山中学校 主題、思考力と創造性の開発をめぐり、気力の充実した生徒づくりを目標にかかげて、一歩一歩その実践に努力してきた学校である。視察目標から、学習効果をより高めるため体力づくりの計画をあげて見ると、(1) スポーツテストの結果を活用して各自分の身体の発達程度を自覚させ体力づくりの必要を理解させる。(2) 運動技能の向上や体力の強化を期した計画。(3) 体力づくりの生活化をめざした計画

中心とした学習のあり方とそのとりくみ。保健体育科では、体育学習を意欲的に進めるにはどうしたらよいか。(1) 服装の統一による環境づくり

この学校では、「生命の教育」を推進するために、人間の在り方を分析して、物理的存在、生理的存在、心理的存在、精神的に存在、神聖的存在の五存在形態に分けつゝ、心身一如の一元的立場を強調している。この一元的立場に基く人間教育が即ち「いのちの教育」を実践しているのである。昨年度は一人ひとりの生徒を生かすために「みづめ、伸ばし、生かす」に重点をおき、本年度も継続研究をつづけている。そして、所謂補習授業はやっていない。補習を廃止すれば、教員は必然的に一時間、一時間の授業に全身全霊を打ちこまなくてはならない。生徒も自主学習、主体学習に力いづばいに取り組む。(但し塾へかよっている生徒はかなりの数(ようだ)その中で、順次、父母に人間教育の真諦を啓蒙している。体育主任は、同校勤務二十年というベテラン、政治力もかなりもっている見えた。彼に運動場、体育館、プール等を案内してもらい説明を受ける。開口一番、生徒の体位は、兵庫第一位で肥満児は一人もいない……と。

体力については、はっきりしたデータがそろってないようだが、確かな返答は聞けなかった。体育活動については、あくまでも生徒の自主性を生かして、教師はあまり干渉しない方針のぞんでる。運動場で練習している生徒の姿は、喜々として眼が輝いていた。



北山中学校、新刊図書を紹介し。

いる関係上、学校緑化活動は活潑である。花壇が手入れされていることは勿論、学校全体がよく整備されており、特に藤棚は圧巻であった。六、今後の研究課題(このたびの研修旅行を終えて)

高めるためのクラス、チャマキを学校側でつくり全員に配布し実施したところ、これまたクラスの中の個人の自覚と認識が深まり、勝手に座席をたたり中途で競技を放棄したりする生徒がなくなり体育大会の雰囲気がいっそう盛り上げられた。(2) 小集団学習 (3) 体育カウンセリング(保健体育診断票による指導)

県外校参観して

川竹利雄

都会なら、何処にでもあろうな学校を見て、何の感銘も受けなかった。失望しながらも反面意を強くし、自信を持ったことだった。

ボケットマネーまで割いてまでの研修旅行は、この際来年度からはお断りしたい気持ちで一杯だ。

ただ教育行政上の面で、著しく木果と異なった点があったので、記して置く。それはクラブ活動と運営のことについて話した時、特に対外試合の際、教員の生徒引率の問題が粗上りのぼった。おまけにシーズンにでもなれば、体育教師は土曜半日休暇。日曜日すら返上してまで、生徒を引率して行かねばならぬなる。

こういった普通以上にかかる教師への負担を、いとも当然と考えられてはいないだろうか。京都の場合は、年間一校に八万円予算を計上しているとか。感心して帰って来たのは、私一人ではなかったと思う。

研修旅行雑感

清岡和枝

始めての研修旅行、まづ研修という意味から考えて頭に浮んだことは、本校が体格体力の指定研究校であるのでこの方面における素晴らしい先進校の視察、施設設備の充実した学校訪問ができるだろうと思っていました。

この先入観を持っておとづれた私にとって名古屋市中立北山中学校、京都府立嘉楽中学校とも期待はずれの気がいたしました。

小学校でマラソンを実施している例があげられ、小学校からマラソンを通じたくまじさ、持久力が養われているという小中一貫した名古屋市の取りくみは大切な事だと思えます。学校災害の方は殆んどなく、疾病も貧血位、骨折等(年に一〜二回程度)もすぐお医者さんが近くなので電話一つでことたりするというので、地理的条件を感じました。

この学校の重点目標は同和教育であり、この同和教育の一環として体育を取りあげているので、こちらの期待にそえるものはないという教頭先生のお話がありました。

京都府立嘉楽中学校 歴史の由緒のある土地に建てられた学校で市街地の中にありながら、一方を御寺、他方を御陵に囲まれ落ち着いた感じの学校です。狭い運動場を通りながら目についたのは鉄筋建の二階の窓から「正しい言葉づかい」と



タバコは村内で 買います。

研修旅行報告

前田 育美

北山中学校

生徒数 七〇〇
教員 三〇
特殊学級生 二五

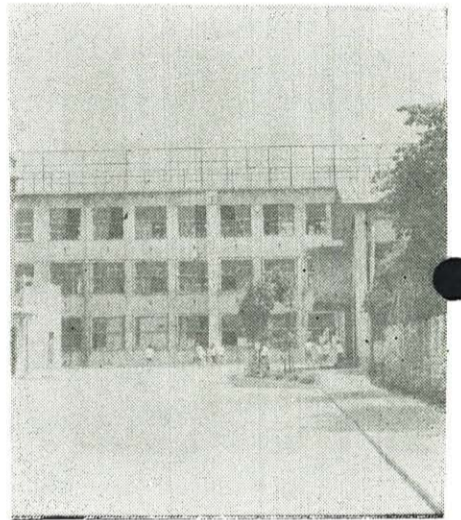
午後二時校門に立つ。すぐ広い運動場が目に付いた。(一、二〇〇平方メートル)
自主、協調、誠実、を校訓とし、

- ・強い信念の人に
- ・学習の喜びを生活に生かしていく人に
- ・協力、奉仕
- ・自分で考えて実行し
- ・責任をどこまでもとる人に
- ・美しさのわかる人に

といった生徒目標が校訓とともに、校長室に掲げられていた。特に、奉仕、実行、責任、美しさのわかる人等について、一般に最近の生徒は理論に走り、実行力の乏しさが指摘されている。私も日頃現場で気にとめていたことなので「具体的な指導方法は」と聞いてみたが、満足な解答は得られなかった。

校訓や生徒目標を具体的にどう指導し、どんな生徒組織で、どの場で、どんな活動を望むか、なにかんづく、小さいことについて、おしなべてきかしてどう実行させるか。このことについて北上中を知りたかったのだが、むしろ馬路の方が優れている、とまでいかなかった。大差なし。ここにも週番制度があり、点検制で掃除、生活結果を点検し、学級で討議し、中学校での人間形成の分野をねらっているようであるが、説明を聞いてみるとマンネリ化されていると感じた。

と、いうのは、校舎内外の美化の点で馬路中がはるかに優れていると思った。プール開きが最近なのか、立派なプール設備のあちこちで、その準備に精出していた。
尿意相催し、中庭を縦断し、園芸クラブが草花定植をしてい



〔嘉楽中学校〕

- ◎欠席、遅刻、早退は必ず届けでること。
- ◎登校後の外出は、外出許可証を受けてすること。
- ◎校内及び登下校中の飲食は禁止する。

◎家庭で外出するときは、必ず行先、同行者、帰宅の時間などを家の人に告げ、許可を得て行くこと。
ともあれ、研修のための旅行は必要である。以上

嘉楽中学校

同和地域を一割程持つ学校で主として、部落解放の問題を柱として教育を推しすすめているようである。

土曜、日曜のクラブ指導費が予算化され、年間十数万近く組まれているようである。また北上中学もそうであったが平日のクラブ指導においても、極論すれば窓越し指導的な感じを受け、また生徒の傷害等についても、あまり神経質でないようだ。
朝早くより、夕遅くまで、それぞれのクラブに顧問教師がつき、精力的な真剣な指導の連続である馬路中。特に体育担当の同僚に頭の下る思い。校舎の側面に「言葉ずかきを正しくしよう」と書いた、たれ幕が目を引き。また廊下でおあいした先生は、幅一五cmもある、たれ幕と同じ文字を鮮やかに記した、たすきをかけていた。
ある期間の生活重点目標である。生活全般に対する学校としての指導(規制)は、かなりきびしいようである。
生徒手帳の中の生徒心得に、次のようなことが記されていた。

◎家庭で外出するときは、必ず行先、同行者、帰宅の時間などを家の人に告げ、許可を得て行くこと。
ともあれ、研修のための旅行は必要である。以上

学生は「タクマシが来て来て」と言うことで、思わず体を前にのり出した。
次に給食の問題に移ったが、ミルク給食しかやって居ないと軽く休をかかわされた。自転車通学の問題でも、名古屋市全体で殆んど自転車通学を認めていない、とどつくしがない。
仕方がないのでクラブ活動の話になった。ここでやっと話合える状態となった。
練習時間は午前六時半から八時まで、午後は五時までとぎまぎっている。
朝、練習をやっているのは馬路中だけではない。たれ幕は、クラブと塾の問題も、夜の塾へ行っている生徒はなんとか両立させているらしいが、父兄の中には「勉強がでなくなる」とクラブを敬遠する者もあるとかで「クラブもできない者が、どうして勉強ができるか」とお互に意気投合。
若者同志?はこんな所で意気が合う。土曜、日曜の教員の取扱いについて聞いてみる。名古屋は日宿直が全廃されているが、それまではクラブ日直を置いて、生徒のケガその他のことをやっていたらしい。

柔道四段の教頭先生の指導する柔道クラブを見た。二十畳の中で二十数名がやっていたが、これも馬路中の方がずっとすばらしい。
校庭では、黒ズボンをはいた生徒が四、五人、バレーボールをやっている。クラブ活動を黒ズボンでやるのは何事だろう。それを見ても何も言わない教員の無神経さにもあきれた。
プールは昨年度完成したとかで立派な施設をそなえてくれている。
高知県の現状とくらべてうらやましいかぎりである。われわれの場合、平日でも朝六時すぎから夕方六時すぎまで十二時間勤務。その上、土、日曜は試合その他で好きな川へも行けない。それがあたりまえと考えている人々も多いのではないだろうか。

① 外部からふり返って見て、今更ながら馬路中学校のすばらしさを再認識し、自信を深めた。
② 放課後のクラブ指導に対する教育行政者の姿勢は県外に学ぶべきである。
③ 旅費、日程に非常な無理がある。特に一部個人負担しなければならない旅費については、なんとかならないものか。

名古屋市長

校門をへい入って「運動場が広いなあ」とうらやましくなる。野球場、バレーコート、バスケットコート一面がゆくりとれている。

それに着地の時、何を恐れてか必ず体を斜めにひねっている。巧技の要素である勇氣と決断力が欠けていると見た。
体育主任の先生を囲んで話し合う。若くてザックバランなところが気に入った。
名古屋市の教委が中心となり全中学校で教育の基本的な柱の一本として「体力作り」をとり入れているとのこと。よそながら結構な話である。特に近くの森山小学校では、馬路と同じくマラソンによる体力作りを行っており、その小学校から



〔嘉楽中学校〕 体育の時間

三ヶ年計画で行われている体格体力総合研究の今年発表の年である。大変なところへ赴任してきたものだと思えば、あせりだけで、少しも研究は進まない。その矢先、研修旅行となった。何か一つでも身となり肉となるものをと、やや悲壮な思いで出発した。
名古屋・京都と二校訪問する。これと比べて得るものはなし。馬路中のよさを再認識したような気がさす。
二校とも大校である、三名の教師とのざつぱらな話し合いのなかで感じたことは、職場全体が目的を一つに、縦、横の連絡を密にしていることである。
まず北山中学校。学校環境において不十分な点が多々あったが、図書館に入った時、豊富な図書と、整備された明ない室

習で隣りのお寺の屋根瓦を割ってしまい、現在はトタン板をはりつけてある。お寺の屋根瓦を破るとは京都らしくて面白い。京都市も名古屋と同じく自動車通学者はない。やはり大都會の交通事情を反映している。給食も実施していない。何んだかたよりない感じさえて来た。
あとの職場訪問の日程もあり早々に引き上げた。
今年の研修旅行をふり返って
① 外部からふり返って見て、今更ながら馬路中学校のすばらしさを再認識し、自信を深めた。
② 放課後のクラブ指導に対する教育行政者の姿勢は県外に学ぶべきである。
③ 旅費、日程に非常な無理がある。特に一部個人負担しなければならない旅費については、なんとかならないものか。

研修旅行を終えて

有光 早春

に感嘆したものだ。このよきな中を育った生徒達は、かならず人間の大きく成長することだろう。残る一校、嘉楽中学校では校門に入ったとたん目に飛び込んできたものは、狭い運動場の中で、男女共、紺の短パンで、都会特有の肥満児もチラホラと、いろいろな体格の生徒がコートで、バレーボールを興じている姿であった。秋の終りまでの体育実技をこの服装で行うようである。同和地区をかかえ、いろいろな問題に頭を痛めながらも全教員が一体となり生徒指導に重点をおき教育効果を上げていく。最近まで荒れていたと思われる校舎も修理され、やっと軌道にのって来たといわれる嘉楽中学校、生きた人間の交流が感じられた。
最後にこの研修旅行の目的は何であったらうか、本来の目的を果すことができなかったのは残念である。

教育の窓

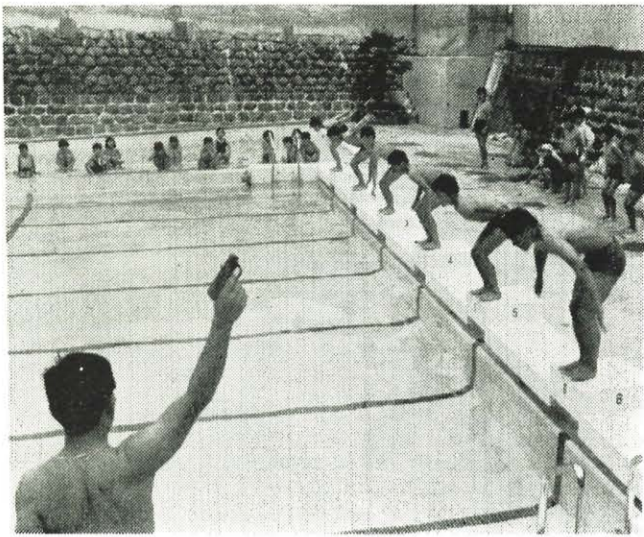
馬路村内小中学校

水泳交歓大会

九月四日、本年七月浄化装置の完成した魚梁瀬小、中学校プールで選手百二十名の参加のもとにおこわれた。

記録は次の通り。

Table of swimming results for various categories including 25m and 50m freestyle for elementary and middle school boys and girls.



がんばろう

ヨーイ・ドン

Table of swimming results for elementary school boys and girls, including 25m and 50m freestyle.

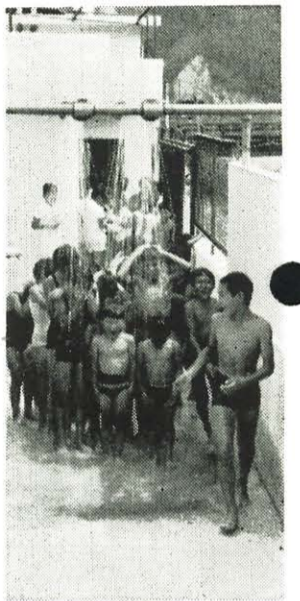


Table of swimming results for middle school boys and girls, including 25m and 50m freestyle.

交通安全旬間にちなんで

馬中二 大野憲昭

十一日から、二十日まで交通安全旬間だ。

交通安全旬間だ。十二日には、パレードも行なわれる。

交通安全旬間だ。交通安全旬間だ。交通安全旬間だ。



馬路中学生徒会、交通安全村民会議、交通安全協会馬路分会で作られた交通安全塔。

10年間に二九七人の減

村内児童生徒数

馬路、魚梁瀬小、中学校児童、生徒数 (S 35~S 42)

Table showing the number of children and students in the village from 1935 to 1942, categorized by elementary school and middle school.

これはほかのことになるが、どうして道路へジャリをいれるのだろう。自動車はいいかもしいれないが、自転車や歩行者は通りによく思う。



（山上垂訓）